投稿

花と緑のぐんまづくり2019 inみなかみ～ふるさとキラキラフェスティバル～」が大盛況のうちに閉幕しました!!

群馬県　県土整備部　都市計画課
みなかみ町　エコパーク推進課

８月31日から９月23日までの24日間、みなかみ町で開催していた「花と緑のぐんまづくり2019 in みなかみ～ふるさとキラキラフェスティバル～」が大盛況のうちに閉幕しました。

今回は「世界が見つめる花と緑の水源のまち“みなかみユネスコエコパーク”」をテーマに開催し、メーン会場である「たくみの里」を中心におよそ12万人の方にお越しいただきました。

たくみの里内の寺通り沿いでは、秋そばの白い花と黄金の稲穂が一面に広がり、特設の高見台からの眺めは圧巻でした。また、宿場通り沿いでは、地元住民のみなさんに花植えからご協力いただき、普段から魅力的な地域により一層の飾花を充実させてお客様をお迎えしました。

さらに、豊楽館北側のメーン花壇は、たくみの里の自然、その中での人々の暮らし、そして秋の収穫のお祝いを表現した“みなかみらしさ”がぎっしり詰まったものとなりました。豊楽館をくぐるととてもきらびやかな花壇達に目を惹かれ、自然に奥へと歩を進めるような空間でした。各花壇に起伏を持たせ効果的に美しさを表現してあり、花壇をバックに記念撮影をしているお客様が多く、みなさんに楽しんでいただけたようです。

毎年実施している「花と緑のコンテスト」は、今回は夏期のコンテストであったため花苗選びに悩まれたことと思いますが、今年もかなりの力作揃い！！夏の草花を用いて豪華に飾られた作品や、花を植える容器に楽しい工夫をした作品などに来場者の方が見入っている様子が印象的でした。

お盆明けに「花いっぱい大作戦！」と称してボランティアの方々約110名のご協力のもと、ハンギングバスケット500基、プランター300基を作っていただき、その多くがサテライト会場や町内の沿道に設置され、町内の様々な箇所が飾花されました。

週末のステージイベントにおいては、お客様に楽しんでいただきやすいように、各日「アーティストDAY」「キッズDAY」「クラシックDAY」などのテーマを設けて実施しました。

約１ヶ月という長い期間、多くのお客様を迎え、会場の花々も美しく咲き続けることができたのは、地元住民のみなさまを始め、関係される本当に多くの方々のご協力があったからだと、強く実感しています。この場を借りて感謝を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました！！

最終日のクロージングセレモニーでは、これまでの開催地の名が刻まれた楯が、第12回目の開催となる次回開催地の藤岡市へ引き継がれました。2020年４月末から約１ヶ月間の会期を予定しており、またみなさまにお楽しみいただけるよう精一杯頑張っていきたいと思いますので、ぜひご来場ください。

メーン花壇の様子

メーン花壇の様子

コンテスト作品

イベント状況